

これからも『唐崎教会』を皆で維持し守っていきましょう。

家 一郎

今回の『唐崎教会改修工事』につきましては、前回の改修工事から24年がたち、屋根・外壁等の経年劣化が進み、末永く建物を使用するためには早い時期の改修が必要な状態でありました。

併せて別の懸案であった教会周りの雑草について、定期的な信徒の草刈り作業も難しく、虫も大量発生しこども園にもご迷惑をお掛けしていたため、こちらも防草シート+砂利敷き詰め改修を行いました。こども園夏休みに合わせての改修期間、長くご不便をお掛け致しましたが、無事に予定通り完成する事が出来ました。完成にあたり皆様のご協力に感謝いたしますと共に、工事を請け負って下さった職人の皆様にも連日猛暑中の作業に感謝いたします。

資金的には、唐崎教会先人の皆様をはじめ全信徒皆様から教会の将来のために残して下さった『建設積立金』のおかげです。この中から=7,932,925円(ロビーエアコン交換を含む)の高額支出をさせていただきました。あらためて皆様の唐崎教会への『思い』に感謝いたします。

しかし、唐崎教会の今後予想される財務内容を見ますと、維持費+ミサ中献金合計金額のピークは、2003年=420万円、以後毎年10万円前後減り続け2023年=230万円と、貨幣価値・物価高を勘案しますと半減以下となっており、この減少傾向は更に続くものと思われます。その献金金額の中から教区への納付金とブロック分担金を支出し、除いた金額で教会の経常支出を賄っております。皆様の節約へのご協力により、単年度の赤字は出すことなく運営出来ております。特別献金(主に祭式献金)は余剰金として残りますが、年度によって変動が大きく、これを除外すると概ねプラスマイナスゼロの状態です。

その為、30年前に購入した唐崎教会の自慢の一つでもあった聖堂オルガンですが、故障発生箇所修理・今後のメンテナンス料金を考えますと、今回苦渋の選択ではありますが、使用継続をあきらめなければならない決断を執行部としてさせていただきました。特にオルガン演奏者の皆様にはより強い思い・愛着がある中、誠に申し訳なく存じます。

先日、オルガンを長年メンテナンス等いただきました、購入先=パックスアーレン社:松中社長様に御礼のお電話をさせていただきました。そのお話の中で、現状のオルガン(+台)は無償でお引き取り下さり、主要部品を入れ替えて可能であれば次の購入者へ、もしくは各パーツ部品として他のオルガンで使用していただけるとの事です。対応について皆様ご了承をお願い致します。

